

授業概要

「リスク」と呼ばれるものは多岐にわたり、現代では家庭・企業・国家などあらゆる組織に欠かせないものとなっている。具体的には、自然災害や事故をはじめ、企業の不祥事や感染症などが挙げられる。

この科目では、リスク・マネジメントの基本的な考え方を、様々な視点から学べるよう、社会における実例や課題、研究事例などを講義する。また、リスク・マネジメントを身近なものにとらえ、自ら対策を検討することができるよう、グループワーク等を行う。

授業計画

第 1 回	「リスク・マネジメント」の概念
第 2 回	リスクのケーススタディ#01 自然災害のメカニズムと対策
第 3 回	リスクのケーススタディ#02 感染症：新型コロナがもたらしたもの
第 4 回	リスクのケーススタディ#03 ハラスメント：労働者がすべきこと、企業がすべきこと
第 5 回	リスクのケーススタディ#04 消費者運動と企業の社会貢献活動
第 6 回	リスク・マネジメントの理論#01 社会保障制度：公的保険と公的扶助
第 7 回	リスク・マネジメントの理論#02 民間保険の仕組み
第 8 回	中間ふりかえり：グループワークによる論点整理
第 9 回	リスク・マネジメントの理論#03 自治体による危機管理と地区防災計画
第 10 回	リスク・マネジメントの理論#04 ISO22301 と BCP (Business Continuity Plan)
第 11 回	リスク・マネジメントの実例#01 合意形成に向けたファシリテーション
第 12 回	リスク・マネジメントの実例#02 ライフサイクルゲーム
第 13 回	リスク・マネジメントの実例#03 マイ・タイムライン
第 14 回	リスク・マネジメントの実例#04 避難所運営ゲーム (HUG)
第 15 回	まとめとふりかえり：グループワークによる論点整理
第 16 回	最終課題の提出

到達目標

- ・リスク・マネジメントの意義や課題を正しく理解することができる。
- ・適切な手法により、リスク・マネジメントにおける目標や対策等を検討することができる。
- ・実生活において、等身大のリスク・マネジメントについて考え、実践することができる。

履修上の注意

講義形式の授業が基本となるが、アクティブラーニングの手法を随時用いる。グループワークによる対話を中心とした回も設ける。

予習・復習

予習として、毎回のテーマに関する情報収集を行う。また、復習として、毎回のテーマについて自分なりの考えをまとめる。

評価方法

- ・毎回授業後の小レポート 30%
- ・中間課題 30%
- ・最終課題 40%

テキスト

- ・教科書名：リスクに備える最新情報版 大学生が狙われる 50 の危険
- ・著 者 名：三菱総合研究所,全国大学生生活協同組合連合会,日本コープ共済生活協同組合連合会,奈良由美子
- ・出版社名：青春出版社
- ・出 版 年 (ISBN)：2023 年 (978-4-4131-1392-2)
- ・参考書名：はじめての地域防災マネジメント 災害に強いコミュニティをつくる
- ・著 者 名：長谷川万由美,近藤伸也,飯塚明子編著,石井大一郎,土崎雄祐,柴田貴史著
- ・出版社名：北樹出版
- ・出 版 年 (ISBN)：2021 年 (978-4-7793-0666-2)